

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 森の宮福祉会	代表者	石塚 克哉	法人・事業所の特徴	基本理念「笑顔・まごころ・ハーモニー」を念頭に寄り添う介護、支援を職員一同取り組んでいます。「通い」を中心に「訪問」「泊り」を組み合わせたサービス提供を行っています。音楽を取り入れたリハビリやレクリエーションにも力をいれています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ハミングベル緑橋	管理者	小栗 健太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	3人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画の内容を簡潔にまとめ、事業所内に掲示し日々、振り返りながら業務に取り組む。	日々、意識しながら業務を行っていた。職員同士の情報共有はできているが記録にまで落としこめていないことがあった。	厳しく自己評価されているように感じた。忙しい業務の中で、取り組みをしていくことは大変だと思うので工夫は必要と感じた。	業務内容の見直しを行なう。業務の効率化を図れる所は改善し、限られた時間の中での業務の質を変えていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用している方が落ち着け、安全に過ごせる環境作りを行うために見直しを行う。	フロア的环境整備を行ない、活動スペースをより広く取ることができた。古くなったソファの買い替えを行なった。	事業所内は明るく清潔な印象を常に感じています。訪問する時は玄関のドアが自由に開き入りやすいです。	引き続き、利用している方が落ち着け、安全に過ごせる環境作りを行うために見直しを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事に参加したり、町会との関わりを持つために行事を行っていく。	餅つきなど施設での行事での関わりはあるが、地域の行事に参加することが少なかった。	以前訪問した時の対応は丁寧で気持ちが良かった。地域のイベントにスタッフが快くきてありがたい。	地域との関わりと大切にし、地域と協力を得て行事を行なうことや、地域の行事に多く参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域資源の情報を集め、共有できるようにし、利用者が地域と関わりを持てるようにする。	それぞれ利用者の住む地域に向く機会があまり持てずにいた。地域での暮らしを支えるために、民生委員との情報共有を行なった。	利用の希望を叶え外出しているように思う。利用しているのは東中本の地域だけではないので、それぞれの地域に出向いて行くことは困難なことだと思う。	利用者と共に地域のイベントに参加したり、地域へのスーパーなどに外出を行ない、地域との関わりを絶やさないようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取組みを分かりやすく報告し、会議内で出た改善等の意見を参考にし、事業運営を行っていく。	事業所の取組みは、写真などを使いながら報告を行なった。会議内で出た意見を、施設の会議でも報告している。	地域の心配な方の相談は個人情報もあるので、行ないにくい。会議ではそんなに意見がないようだが、聞く耳をもってもらっている。	引き続き、事業所の取組みを分かりやすく報告し、会議内で出た改善等の意見を参考にし、事業運営を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	消防訓練と共に水害の避難訓練も実施し防災の対応を都度見直していく。備蓄についても整えていく。	通常の消防訓練に加え、水害想定での避難訓練を新たに実施した。災害時の備品についても、検討し追加購入している。	町会と合同で消防訓練を行なわれている。災害時、地域の方が頼りにしていると思います。	引き続き、消防訓練と共に水害の避難訓練も実施し防災の対応を都度見直していく。備蓄についても整えていく。